

令和4年度第2回佐賀県建設工事入札審査会 会議結果

開催日時	令和4年11月24日(木)10時から11時30分まで										
開催場所	公益財団法人 佐賀県建設技術支援機構 研修室 (佐賀市鍋島町大字森田912番地)										
出席者	(委員) 深川委員、赤星委員、帯屋委員 (事務局) 建設・技術課長 他5名 (審査対象機関) 畜産課 教育総務課 佐賀土木事務所 唐津土木事務所										
会議の公開 ・非公開	公開(ただし、自己採点型以外の総合評価落札方式による入札案件の個別評価点に係る審査については、非公開)										
非公開理由	自己採点型以外の総合評価落札方式による入札を行った案件の個別評価点(評価の内訳)については、個別企業の技術者に係る個人情報や企業独自の技術的情報が含まれるため。										
会議概要	<p>審査対象期間(令和4年5月1日～令和4年8月31日)に契約した3,500万円以上の工事168件の中から、委員が抽出した7件の工事について審査</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">抽出案件</th> <th>7件(2件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">内 訳</td> <td>一般競争入札</td> <td>0件(-)</td> </tr> <tr> <td>条件付一般競争入札</td> <td>7件(2件)</td> </tr> <tr> <td>随意契約</td> <td>0件(0件)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※( )は、自己採点型以外の総合評価落札方式の件数</p>	抽出案件		7件(2件)	内 訳	一般競争入札	0件(-)	条件付一般競争入札	7件(2件)	随意契約	0件(0件)
抽出案件		7件(2件)									
内 訳	一般競争入札	0件(-)									
	条件付一般競争入札	7件(2件)									
	随意契約	0件(0件)									

## 審議概要

委 員	県(○発注者、◆事務局)
<p><b>開会</b></p> <p>・ 総合評価落札方式(自己採点型以外)による条件付一般競争入札の2案件の個別評価点(評価点の内訳)に係る審議等については、非公開とする。</p>	
<p>1 報告事項</p> <p>① 契約状況</p> <p>② 指名停止等の運用状況</p>	<p>◆配布資料により説明</p>
<p>2 審議事項</p>	
<p><b>資料番号1 &lt;畜産課&gt;</b></p> <p><b>03畜産 第 9910011-003 号佐賀県食肉センター事故畜棟新築冷却防熱設備工事</b></p>	
<p>◎今期最高額の工事である。しかし、応募者数、入札参加者数とも1者しかなく、落札率も99.99%と高い。それ程の難工事なのか、入札者数が少ない理由を知りたい。管工事も人材不足なのか。</p>	<p>○佐賀県食肉センター事故畜棟の建設工事については、食肉処理施設という特殊な施設を建設する専門工事である一方、県発注工事でもあることから地元建設業者の受注機会確保、育成の場とする必要がある。そのため、建設工事を一般営繕的な部分と専門的な部分に分けて発注する方針としている。</p> <p>○こうした方針に基づき工事内容を精査し、可能な限り一般営繕工事に振り分けた結果、今回発注の冷却防熱設備工事については、食肉処理施設における業務用低温空調設備の新設という専門的な部分が殆どとなった。</p> <p>○また、落札者に聞き取りを行ったところ、全国的に冷却設備の工事に対し技術者が不足しているようである。</p> <p>○これらの要因により、今回応募者数、入札参加者数共に一者という結果になったものと考えられる。</p>
<p>◎事故畜棟とはどういう施設か。</p>	<p>○通常は自力歩行できる家畜が搬入される。ケガ等で自力歩行できない家畜を搬入し、食肉処理する施設。「事故畜」と言っても基本的に食肉センターへ搬入される家畜は県食肉衛生検査所で食用に適していると判断されたもののみなので安全性については確保されている。</p>
<p>◎今回の工事のような専門的な部分を扱うことのできる業者は全国に何社あるのか。</p>	<p>○3社のみである。</p>
<p><b>資料番号44 &lt;唐津土木事務所&gt;</b></p> <p><b>道整交金 第 0001204-015 号国道204号(唐房)道路整備交付金工事(道路改良工)</b></p>	
<p><b>資料番号45 &lt;唐津土木事務所&gt;</b></p> <p><b>道整交金 第 1111204-001 号国道204号(唐房)道路整備交付金工事(道路改良工)</b></p>	
<p><b>資料番号145 &lt;唐津土木事務所&gt;</b></p> <p><b>単道地特 第 0111204-001 号国道204号(唐房)地方特定道路整備工事(道路改良工)</b></p>	

<p>◎入札参加者が1者にとどまっており、かつ落札率も高い。また、いずれも同じ業者が落札しており、入札経緯を確認したい。</p>	<p>○&lt;44&gt;・&lt;45&gt;で辞退の1者に聞き取りを行ったところ、当時は多くの工事入札案件があったことから、社内で入札参加工事の選定を行った結果、他の発注工事の入札に参加することで配置予定技術者が不足したため辞退をされた。</p> <p>○&lt;145&gt;については&lt;44&gt;・&lt;45&gt;決定後の入札であり、入札参加者が1者にとどまったのは、工食用道路を3工事で共用することから、工事の施工上1社の施工が良いと業者が判断されたものではないかと推測している。</p> <p>○また、落札率が高いのは、工種が多様で下請け業者も多くなるため、応札した業者が実行予算を組み入札した金額が結果として高落札率になったものと思われる。</p>
<p>◎「実行予算を組み入札した金額が結果として高落札率になった」ということだがその原因は何が考えられるか。</p>	<p>○資材単価がかなり高騰しているため、下請けを頼むとしてもなかなか実行予算が組めない苦しい状況であると業界側から話をきいている。</p> <p>○人材の不足もあり、特に型枠工が不足している。人材の確保が大変であり、70歳を超える方も働いているのが現状である。</p>

**資料番号113 <佐賀土木事務所>**

**サン整備第 9939021-007 号 SAGA サンライズパークテナントエリア(南)整備工事(外構工)**

<p>◎1億円以上の工事で、入札参加者数が1者の場合は落札率が高くなっている。今回は高額特 A 工事で、入札二回の末、落札率 100%となっている。外構工はそのように難工事ではないと思われるが、入札から落札までの経緯を確認したい。</p>	<p>○当該工事は、雨水排水設備、園路広場舗装、花壇、サイン等多岐にわたる工種を含めた土木一式工事であり、当該エリア整備の最終工事である。</p> <p>○応札者等に聞き取りを行った結果、当該工事は先行するアリーナ等の建築工事、造成工事等との施工及び工程調整が必要となること、また、施設の一部利用が既に開始されていることから安全管理が特に重要であり、その安全対策に要する費用の負担増があること、さらに、アリーナ施設等のオープン時期が概ね公表されていたことから、完成までの工程管理が厳しく求められる等といったことが懸念され、受注を敬遠している傾向が強いようであり、その結果、入札参加者が少なくなり、落札率も高止まりとなったものと想定される。</p> <p>○大きなプロジェクトを進める場合には、工程スケジュールの管理が重要となるが、様々な工種で必要となる適正な工期が確保できるよう、スケジュールのフォローアップも行いながら、早期発注に努め、また、工事箇所近傍に利用されている施設がある場合には、施設管理者と利用状況等の確認、安全対策案を事前に示すなどの検討、調整を行い、設計積算に反映させ、工程及び安全対策等の不安を軽減し、応札業者を増やしていくよ</p>
---	---

	う取り組んでいきたい。
◎工程管理が大変であるという確認は落札業者にしたもののか。辞退者はどうなのか。	○辞退者も含めての確認である。
◎工程管理が費用に影響するものなのか。	○周りの工事と輻輳しており、自社だけでなく下請け部分もあるので人を手配するのにも費用がかかる。工期末が明確に決まっており、厳しい工程管理のものは敬遠される傾向があるため余計に費用がかかる。
◎この工事は2回目の入札で決定しているが、1回目は予定価格を超過していたということか。	○その通り。厳しい工程管理が求められること、安全対策に要する費用の負担増があることなどから1回目は高めの金額での応札であったと推測される。
◎安全管理がどう影響があるのか。	○この工事は家に例えると庭の工事にあたり、建物内の内装工事、電気設備工事を行いながら工事を行っている状況である。建物内の工事作業者の出入りがあるため中断されることもあり、効率的な工事が行いにくくなっている。
◎資材単価の高騰についてはどうしようもないと思われるが、その他のマネジメントの部分であったり、人員の配置の部分等で工夫をしていただきたい。	
<b>資料番号51 &lt;教育総務課&gt;</b> <b>4小城工第1号小城高等学校特別教室棟外壁改修工事</b>	
◎入札参加者は5者だが、落札率が高く競争が働いていないように見える。考えられる理由を説明していただきたい。	○応札者に聞き取りを行った結果、資材価格や人件費の高騰が著しく、今後も続くことを考慮して見積を行っているようである。その結果、予定価格前後で入札が集まり、入札した5者のうち、4者が予定価格を超過、1者のみが予定価格範囲内であったことから、落札率が高くなったものである。 ○県内の工事発注や落札情報を注視し、また実勢単価の把握に努めながら、円滑な工事発注に繋げていきたい。
<b>資料番号126 &lt;佐賀土木事務所&gt;</b> <b>単河保全 第9902010-002号本庄川河川保全(プロジェクトIF)工事(河道掘削工)</b>	
◎入札参加者が複数にも関わらず落札率が高いのは、何故か。	○当該工事は、本庄川に土砂が堆積したことで流下断面を阻害していることから、浸水被害軽減のため河道内の堆積土砂を撤去する土木一式工事である。 ○応札者等に聞き取りを行った結果、手持ち工事が多く現場代理人が不足気味であるが、当該工事は河道掘削ということで、資材等の価格高騰の影響を受けにくいこと、工種が少なく工程管理がしやすいことから、受注可能な案件ではある。しかし、競争してまで当該工事を落札する必要が無いことから、落札率が高止まりという結果になったものと想定される。 ○少しでも競争原理が働くよう、数本の工事を同時発注出来るようにすること及び、工事発注が集中する前の

	<p>早期発注に努め、応札業者を増やしていくよう取り組んでいきたい。</p>
<p>◎ほかに考えられる原因はあるか。</p>	<p>○受注可能な案件であるとは聞いているが、資材単価の高騰も多少は影響していると思われるし、人材が不足しているのは確かであり、佐賀県内の業者も労務単価が高い福岡県、久留米市等の工事の下請け等となり佐賀県の工事を受注できないケースもあるようだ。</p>
<p>◎全体的に資材単価の高騰が影響しているようであるが、5者のうち4者が予定価格を超過しているようなことは今まではあまりなかったと思う。設計から入札までの間に資材の価格が上がり予定価格内に収まらないということもあるのではないか。</p>	